

## デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業評価シート No.1

事業名	歴史・文化資源を活用した地域活性化事業			
地域再生計画名	同上（※静岡県広域連携事業 静岡県、熱海市、三島市、富士市、静岡市、浜松市、沼津市、島田市、磐田市、掛川市、藤枝市、下田市、菊川市、伊豆の国市、清水町、富士宮市）			
総合戦略での位置づけ	基本目標 1 変化し続ける温泉観光地を目指す			
事業実施期間	令和3年度～令和5年度	担当課	観光経済課	
事業費 (計画額含)	R3：14,983,640円 R4：14,994,045円 R5：14,997,400円 計：44,975,085円	うち交付金額 (計画額含)	R3： 7,491,820円 R4： 7,497,047円 R5： 7,498,700円 計：22,487,567円	
事業概要	大河ドラマのテーマが2021年「鎌倉殿の13人」、2022年「どうする家康」と発表され、複数年にわたり静岡県内の歴史・文化資源に注目が集まるところから、県と市町が連携して地域のブランド力を高め、文化財等の歴史・文化資源の保全、価値の発信と継承、資源の磨き上げとプロモーション、周遊促進等を行い、観光客に選ばれる地域づくりを目指す。			
主な事業	【大河ドラマの放映を契機とした誘客宣伝事業】 市内周遊促進、インフルエンサーを活用したプロモーション等を実施			
重要業績評価指標(KPI)		R3	R4	R5
静岡県における宿泊客数（千人）※累計	目標値	10,880	13,110	16,110
	実績値	10,880	17,490	18,670
郷土史家によるリレーシンポジウム等の「知る・深める」事業への参加者数（人）※累計	目標値	200	8,580	19,020
	実績値	347	8,432	29,884
スタンプラリー等の広域周遊事業への参加者数（件）※累計	目標値	1,000	38,100	51,090
	実績値	1,793	61,714	33,789
県内1人あたり旅行消費額（円）※累計	目標値	17,431	17,604	17,837
	実績値	17,431	19,444	22,529
主な成果 今後の方針	熱海に点在する歴史資源及び近隣の市町の歴史資源を合わせてPRすることで市の魅力をPRすることができたが、継続するための資金調達や人材など課題がある。			
事業効果	②本事業は地方創生に相当程度効果があった			

&lt;事業効果&gt;①本事業は地方創生に非常に効果的であった ②本事業は地方創生に相当程度効果があった

③本事業は地方創生に効果があった ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

## デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備＋推進タイプ）事業評価シート No.2

事業名	南熱海ふるさと創生ハブ機能拠点整備事業				
地域再生計画名	同上				
総合戦略での位置づけ	基本目標3 新しい人の流れをつくる				
事業実施期間	令和5年度 (一部事故繰越し)	担当課	総務課		
事業費	R5：302,309,000円 R6： 9,849,000円 計：312,158,000円	うち交付金額	R5：142,151,500円 R6： 4,617,000円 計：146,786,500円		
事業概要	地区の中心に位置する旧学校施設を交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースなどに活用可能な空間として整備し、施設の一部をテナントオフィス等として貸付け、これによる仕事の場の提供とともに、交流イベントの実施や空き家紹介といったソフト面の施策を連動させ、移住定住の促進と交流・関係人口の拡大を目指す。				
主な整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な構造的課題を解消するためのハブ機能拠点として、地域内外の人が地域資源を活用した交流事業等に活用するため、地域交流スペース及びイベント・交流スペースを1階に整備し、1階と2階に8区画のテナントオフィス、2階に1箇所コワーキングスペースを整備。利用者の快適性を図るため、1階トイレの一部を大人用化及び多目的トイレを設置。</li> <li>・施設全体として、学校施設から転用するにあたり、法適合するために必要な天井・床・壁・消防設備等の改修。</li> <li>・昭和52年に建築された廃校施設をリノベーションし活用するために必要となる、屋上防水、外壁改修、高架水槽取替、水道管の一部改修など。</li> <li>・地域資源を活用した交流事業及び施設利用者の駐車場としてグラウンドを活用するため、屋外トイレの大用化。</li> </ul> <p>(実施設計業務委託料、建築物本体工事、電気設備工事、給排水衛生工事、駐車スペース改修工事)</p>				
重要業績評価指標(KPI)		R6	R7	R8	R9
①拠点施設の活用を通じた交流人口(人)※累計	目標値	1,200	2,750	5,300	7,850
	実績値	3,052			
②拠点施設におけるコワーキングスペースの会員数(人)※累計	目標値	15	35	50	65
	実績値	11			
③拠点施設におけるテナントオフィス稼働率(%)※累計	目標値	25	50	75	85
	実績値	31			
④地域の空き家が利活用(移住、起業・創業)された件数(件)※累計	目標値	1	3	6	11
	実績値	6			
主な成果 今後の方針	コワーキングスペースの会員数を除いたKPIにおいて令和6年度の目標値を超えており、ハブ機能拠点として地域に根付いてきている。今後は、洗い出した各事業の課題に取り組み、更に地域に根付いた拠点として、特に域外の人の呼び込みを促進し、新たな産業・事業を生み出していく。コワーキングスペースについては、会員の獲得が難航しているため、当該スペースを作業場所ではなく、地域情報や人、事業とつながる場として機能させる工夫を導入し、特徴あるスペースとしていく。				
事業効果	②本事業は地方創生に相当程度効果があった				

&lt;事業効果&gt;①本事業は地方創生に非常に効果的であった ②本事業は地方創生に相当程度効果があった

③本事業は地方創生に効果があった ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

## デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業評価シート No.3

事業名	持続的ウェルビーイングが実現する熱海ふるさと創生事業			
地域再生計画名	同上			
総合戦略での位置づけ	基本目標3 新しい人の流れをつくる			
事業実施期間	令和6年度～令和8年度	担当課	観光経渉課	
事業費 (計画額含)	R6：25,221,000円 R7：22,611,000円 R8：22,491,000円 計：70,323,000円	うち交付金額 (計画額含)	R6：12,610,000円 R7：11,305,000円 R8：11,245,000円 計：35,160,000円	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧網代小学校施設をハブ機能の拠点として活用し、まちづくり会社を中心に地域住民と域外の人的資源との連携を図る。</li> <li>・地域資源を活用した交流促進事業を展開し、移住定住の促進と交流人口・関係人口の増加を図る。</li> <li>・住民の豊かな暮らしを実現するため、地域の魅力を育み、人が集う地域を構築し、地域の活性化を図る。</li> </ul>			
主な事業	<p>【オフィス事業】(委託料) 旧学校施設の交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースを活用したビジネスマッチングと域内外の交流の場の提供</p> <p>【地域資源を活用した交流促進事業】(委託料)            ①地域資源を活用した体験イベント等の実施による域内外の交流事業の実施            ②自然を活用した体験プログラムを実施するインタークリターの養成</p> <p>【エリアリノベーションまちづくり事業】(委託料)            ①各地区で課題の整理を行い、地域の在り方を創造していくエリアリノベーションまちづくりを実践するエリアリノベーション会議を開催。            ②エリアリノベーションビジョンの策定</p>			
重要業績評価指標(KPI)		R6	R7	R8
①地域へのUIJターンの数(人) ※累計	目標値	4	8	14
	実績値	5		
②リノベーション事業から生まれた起業・創業者数(人) ※累計	目標値	2	4	7
	実績値	4		
③テナントオフィス稼働率(%) ※累計	目標値	25.0	50.0	75.0
	実績値	31.1		
④網代地区の空き物件が利活用された件数(件) ※累計	目標値	1	3	6
	実績値	6		
主な成果 今後の方針	KPIについては、全ての項目において令和6年度目標値を達成した。地域資源を活用した人材育成や交流事業の実施、空家とのマッチングなどのシナジー効果により地域へのUIJターンや空家の利活用に効果が表れている。今後はエリアリノベーションビジョンの策定をするとともに、さらなる事業の拡充を図り域外マンパワーの獲得に取り組んでいく。			
事業効果	②本事業は地方創生に相当程度効果があった			

<事業効果>  
 ①本事業は地方創生に非常に効果的であった  
 ②本事業は地方創生に相当程度効果があった  
 ③本事業は地方創生に効果があった  
 ④本事業は地方創生に対して効果がなかった